

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●和田竜二騎手がJRA通算1100勝を達成

7月9日(日)の3回中京4日・第9レースとしておこなわれた清洲特別ではパリスが1着となり、同馬に騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、史上28人目、現役では12人目となるJRA通算1100勝(1万5366戦目)を達成しました。

●高橋裕調教師がJRA通算400勝を達成

7月8日(土)の2回函館1日・第3レースではタカミツサクラが1着となり、同馬を管理する高橋裕調教師(美浦)は、現役48人目となるJRA通算400勝(5629戦目)を達成しました。

●クロフネ産駒がJRA通算1200勝を達成

7月9日(日)の3回中京4日・第8レースではダンサクドゥーロが1着となり、クロフネ産駒のJRA通算勝利数が1200勝となりました。これはJRA史上11頭目の記録です。

●レギュラーメンバーが死亡

7月11日(火)、レギュラーメンバー(牡20歳)が死亡しました。同馬は2000年にダービークラシック(盛岡・G I)を、2001年には川崎記念(川崎・G I)とJBCクラシック(大井・G I)を制するなどJRA通算16戦3勝・地方7戦3勝・海外1戦0勝の成績を残して引退。種牡馬としては東京ダービー勝ち馬サイレントスタメンなどを出し、種牡馬からも引退後は青森県八戸市の山内牧場に繋養されて余生を送っていました。

●セレクトセールで史上最高の落札総額を記録

7月10日(月)と11日(火)の2日間、北海道苫小牧市のノーザンホースパークにおいて「セレクトセール2017」(主催・一般社団法人日本競走馬協会)が開催されました。2日間トータルの落札総額はセレクトセール史上最高となる173億2700万円を記録。初日の1歳馬セッションでの最高落札額はリッサンの2016(牡/父ディープインパクト／母はタッチングスピーチ／母は英G1勝ち馬)で2億7000万円、2日目の当歳馬セッションではイルーシヴウェーヴの2017(牡/父ディープインパクト／母は仏1000ギニー馬)が国内のセリ史上2番目の高額となる5億8000万円で落札されています(金額はすべて税別)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ジャパンダートダービー(大井)は船橋のヒガシウィルウィン

ジャパンダートダービー(Jpn I、3歳、7月12日、大井、2000m)は、5~6番手を追走した5番人気の船橋のヒガシウィルウィン(本田正重騎手、牡、父サウスヴィングラス)がゴール前で差し切りました。サンライズソアがクビ差の2着に入り、2番人気のタガノディグオは3着、3番人気のリゾネーターは4着、逃げたノーブルサターンは5着、1番人気のサンライズノヴァは6着、ローズプリンスダムは8着、シゲルコングは10着に敗れています。

●プロキオンS(中京)の地方勢はトウケイタイガーの7着が最高

プロキオンS(G III、7月9日、中京)には2頭の地方競馬所属馬が出走しましたが、逃げたトウケイタイガー(兵庫)が7着、最後方から差を詰めたマヤノオントロジー(愛知)は11着でした。

●クイーンCは兵庫のハヴァナイスディ【各地の主要3歳重賞】

クイーンC(6月28日、笠松、1600m、牝馬)は、3番手から4コーナー手前で先頭に立った7番人気の兵庫からの遠征馬ハヴァナイスディ(父ベーカバド)が、1番人気のじぎく賞馬アペリラルビーの追撃を半馬身差で凌ぎ、初の重賞制覇を果たしています。

●クリノスターーらが参戦、7月17日のマーキュリーC(盛岡)

マーキュリーC(Jpn III、盛岡、2000m)は、クリノスターーが一応中心、以下ミツバ、ピオネロ、ディアデルレイ、ドリームキラリ、グルームアイランド(金沢)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1エクリプスS~良血馬ユリシーズがG1初制覇

7月8日に英サンダウン競馬場で行われたG1エクリプスS(芝9f・209m)は後方でレースを進めたユリシーズ(牡4歳)が直線で鋭く伸びると、最後はG1セントジェームズパレスSを勝って臨んだ3歳牡馬バーニーロイとの競り合いをハナ差で制して優勝しました。G1初制覇となったユリシーズは、父が2001年の英ダービー馬ガリレオ、母が2007年の英オークス馬ライトシフトという良血馬。過去、ピルサドスキーやオペラハウスなどでもエクリプスSを制しているM.スタウト調教師はこのレース6勝目となり、20世紀前半のA.ティラー Jr. 調教師の持つ最多勝記録に並びました。

●G1ベルモントダービー招待S~オスカーパフォーマンスが快勝

G1ベルモントダービー招待S(3歳、芝10f)が米ベルモントパーク競馬場で7月8日に行われ、地元米国のオスカーパフォーマンス(牡3歳、父キトゥンズジョイ)が逃げ切って優勝。昨年11月のG1ブリーダーズCジュヴェナイルターフ以来となるG1・2勝目をあげました。2着に仏国から遠征したコールドトゥザバー。ハーツクライ産駒の日本産馬ヨシダは、2連勝の内容が高く評価されて1番人に推されましたが先行策から伸びを欠いて5着に終わりました。